



ふたりの星

ローリー作 太田大輔絵 掛川恭子・卜部千恵子訳 童話館出版

一九四三年、十才の少女アネマリーは、ナチスドイツの支配下にあつた国デンマークに、家族と暮らしていました。ある日、アネマリーは、ドイツ軍がこの国に住むユダヤ人を全員捕まえようとしていることを知ります。友だちのエレンの一家もユダヤ人でした。アネマリーは、エレンとその家族を自由の国スウェーデンへ逃がす手助けをします。

本当にあつたできごとから生まれ、勇氣と愛の物語。

一九九二年の講談社版の文章が見直され、新しい絵で再刊されました。

